

花嫁

堕ちる

R18
ADULT ONLY

記憶喪失になつた
マシュはボガードの
花嫁に選ばれた
國中は大きく湧いた
がマシュの心には
不安があつた

なにか大切なことを、
忘れている気がする…



そして不安を抱えたまま
とうとうその日が来てしまった



夜
ボガードの寝室

やはり私は体を預ける
ことはできません…

私の心のどこかで
拒否感があるので…

どうか、ではハベトロツトが
どうにかなることになるな

そうならないように
するのはお前の
心がけしだいだ

わかるな…

はい…

そんな！彼女は
関係ないはずです !!

では服従の証として
私の一物を口でシゴいて
もらおうか

はい…
(そんな大きいつ…!)

むわあ

あ、あ、



そんな上品なフェラで
私が満足すると
思つて いるのか！

すす～～

フーッ

(くつ苦しい…!)

ヒク
ビグニ

(喉に熱いのがいっぱい…!)

主人の情けだ、
すべて飲み干せよ

はい…

うう…喉がねちよねちよ
して気持ち悪い…
♥

ちゅ
ふ[。]
ちゅ

なかなかの良かつたぞ
貴様の口と喉は

ふつ、上品ぶつた顔をしおつて、
すぐ私の色に染めてやる

さあ貴様が花嫁に
ふさわしいマンコか

私の一物で
確かめてやる！

アーッ
アーッ
フーッ

ピク
ピク
ピク

あ、

あ？

ふふふ

ふふ

ウソ！
こんな大きいのが
私の中に入るの？

入れるぞ！

ヌン

記念すべき、
最初の挿入だ！

ズ・ズ・ズ

は、

は、

そんな…こと…
ありません♥

口ではそういうが
体は違うようだな！

やはり名器だったか！

予種がほしいと締め付けを強くしおつてからに！

ズ・ズ

どうだ！私のプレスは！

数々の女を
堕としてきた技だ！



そんじよそこらの
男では味わえぬぞ！

ウソウソ♥子宮が♥
押ししづぶされてイッてる♥
♥
♥
♥
♥

あああ
ハハハ



千ユ



い…イヤツ
♥

は、
は、

そろそろ…
出すぞ！

中にはつ…
外に出してくださー！

ピクン、

!?

ビクン、



最初にしては、
いい反応ではないか

このイキ具合なら
素質は十分…

これなら堕とすのも
時間の問題だな



その日以来、私は毎日
ボガード様の夜伽の相手をいたしました

彼の性欲は底がなく、朝まで
行為が続くのは当たり前、
色々な体位でイカされ、
彼の形を憶えこまされました

今ではボガート様の
一物の匂いだけでも
イツてしまします

むわあ

イク

۴۷۰

七
ク

ビ
ワ

どう
く
心

۲۷

思い浮かんだ「先輩」という
大切な言葉すら
どうでもよくなつていき……

数日後

ボガード様…私…

どうどう服従を決めたか花嫁よ
さあ、私のものをねだつてみせろ



このマシュめにボガード様の
ご慈悲をくださいませ…

はい…



よく言った！
とつておきだ！
褒美に後ろから
犯してやる！

あああん！
ありがとうございます！
ボガード様あ

ああ
じゅふ
じゅふ
じゅふ
じゅふ

ぐちゅ
じゅふ
じゅふ

乃子ね

パンパン

乃子ね

パンパン

ああ

うおおおお
射精すぞ射精すぞ！
さあ愛の言葉をささやけ！

はい！

突かれるたびに幸せな
気持ちがこみあげてくる
こんな今まで味わえなかつた

ピリピリ

タ・ン・ツ
タ・ン・ツ

あなた様の子を孕むため
どうかご慈悲をください！

マシュはボガード様を
愛しております！！！

あー

あら
あら



ようやく好みの色に
染まつたな♥

これでお前の求めていたものが
私だと理解できたか？

ジクビビビ

ビクビクビク

あ、
♥

うう
♥

ハーハーハー
♥

どうも
。。。

うう
。。。

はい
♥

だがまだまだ抱き足りぬ
これからも付き合つて
もらうぞ花嫁よ

はい：理解しました
ボガード様こそ、
私の求めていたお方♥